

北海道・札幌にてウィンタースポーツ(スキー)を学びました

2025年2月24日から27日にかけて、北海道・札幌へフィールドワークに行ってきました。このフィールドワークの目的は、ウィンタースポーツ(スキー)の技術習得と雪国の生活様式・習慣を観察でした。

初日は札幌市に到着後、北海道神宮へ正式参拝をおこない、北海道神宮についての説明を受けました。夜は、北海道グルメで有名なジンギスカンを堪能しました。2日目と3日目は、札幌市のテイネスキー場(1972年冬季オリンピック会場)のスキースクールでレッスンを受けました。初心者だった学生もわずか2日間のレッスンで、スイスイ滑れるようになりました。また、最上級クラスのレッスンでは、受講生の大半が60歳以上で、最高齢が80歳代。ゴーグルやフェイスマスク越しだと、20~30歳代の滑りに見えるほど。不整地コブ斜面も跳ぶようなスピードで滑り下っていました。スキー場が都市部にとても近いこと、インストラクターが親切丁寧に教えてくれることから、週に何度も通っているそうです。下手なスポーツジムに行くのと一人で黙々と運動するだけですが、スキースクールのレッスンであれば、インストラクターと確実に会話ができて、指導アドバイスを頂けること、友達がいること、今回の我々のようにポツと入ってくる人と新しい出会いがあることなどから、非常に刺激があるのかもしれない。雪国ならではの運動習慣を垣間見ることができました。スキーレッスンの後はナイタースキーで自主練を2時間ほどおこない、腹ペコで海鮮、お寿司を食べに行き、へとへとになってホテルに戻り、爆睡するという、いかにも健康科学研究室らしいフィールドワークになりました。

最終日(移動日)の午前中は、とある有名なチョコレート製菓会社の工場見学も行き、チョコレートや北海道産乳製品をつかったデザートも堪能できました。



